



平成 27 年 4 月 13 日

各 位

会社名 株式会社 東京 衡 機
代表者名 代表取締役会長兼社長 石川 隆一
(コード番号 7719 東証第2部)
問合せ先 管 理 部 長 氏家 徳良
(TEL. 03-5207-6760)

特別損益の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 2 月期第 4 四半期連結会計期間において、下記のとおり特別損益を計上いたしますのでお知らせいたします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 26 年 10 月 14 日に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損益の発生およびその内容

(1) 特別利益の発生

- ・ 関係会社事業損失引当金戻入の計上

国内連結子会社である株式会社 KHI の特別清算に伴い、平成 26 年 2 月期に引当しておりました当該引当金を取崩し特別利益に計上することといたします。

(個別) 関係会社事業損失引当金戻入 78 百万円

(2) 特別損失の発生

- ・ 関係会社投融資評価の算定の見直しによる引当金繰入

国内連結子会社である株式会社 KHI に対する当社の未収入金等の債権増加に対する引当金の追加繰入額を特別損失に計上することといたします。

(個別) 貸倒引当金繰入額 30 百万円

- ・ 国内連結子会社の固定資産の減損等

国内連結子会社である株式会社 KHI の所有資産の処分を進めており、土地および建物を売却見込額まで帳簿金額を減額し、減少額を減損損失として特別損失に計上することといたします。

(連結) 減損損失 85 百万円

- ・ 中国連結子会社に対する出資評価損等

当社の連結子会社である特可思(北京)進出口有限公司に対する出資の投融資評価において、同社に業績回復の見込がなく既に清算手続きを進めていることから、同社への出資額について帳簿価額を減額し、関係会社株式評価損として特別損失に計上いたします。また、清算に伴う当社の追加費用負担見込額を関係会社事業損失引当金繰入額として特別損失に計上いたします。

(個別) 関係会社株式評価損 3 百万円

関係会社事業損失引当金繰入 2 百万円

- ・ 中国連結子会社に対する出資評価損

当社の連結子会社である上海参和商事有限公司の出資持分売却見込金額まで帳簿金額を減額し、関係会社株式評価損として特別損失に計上することといたします。

(個別) 関係会社株式評価損 16 百万円

- ・中国連結子会社に対するのれんの減損

当社の連結子会社である上海参和商事有限公司の出資持分売却が見込まれることから、同社に対するのれんの残額について、減損損失として特別損失に計上することといたします。

(連結) 減損損失 7 百万円

- ・中国子会社の固定資産の減損

中国子会社である無錫三和塑料製品有限公司の成型事業において、今後使用する見込が明らかでない金型の減損損失を特別損失に計上いたします。

(連結) 減損損失 13 百万円

2. 業績予想数値の修正

(1) 平成 27 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 3 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	5,888	92	76	20	円 銭 0 28
今回修正予想 (B)	5,837	47	53	△237	円 銭 △3 33
増減額 (B-A)	△51	△45	△23	△257	—
増減率 (%)	△0.9	△48.9	△30.3	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成 26 年 2 月期)	5,772	△202	△277	△418	円 銭 △5 87

(2) 平成 27 年 2 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 26 年 3 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	2,400	△80	△146	円 銭 △2 04
今回修正予想 (B)	2,430	△66	△75	円 銭 △1 05
増減額 (B-A)	30	14	71	—
増減率 (%)	1.3	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成 26 年 2 月期)	2,456	△22	△245	円 銭 △3 44

(3) 修正の理由

平成 27 年 2 月期通期連結業績予想につきましては、主にゆるみ止めナット事業の収益の伸び悩みと中国子会社の日本向け家電製品の収益の伸び悩みにより売上高、営業利益、経常利益ともに計画よりも減少し、また、第 4 四半期連結会計期間における上記の特別損失の発生等により、引き続き当期純損失の計上となる見込みであります。また、通期個別業績予想につきましては、上記の特別利益の発生等により、当期純損益は若干改善する見込みであります。

以上